

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 21-070	
研究課題名	難治性小児便秘症における便塞栓解除を目的としたガストログラフィン注腸療法の試み
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	便秘症では時に便塞栓を生じ、便秘の悪循環へと陥ることがあります。便塞栓解除は便秘治療において極めて重要ですが、通常のグリセリン浣腸や座薬、内服薬では対応困難な場合があります。そのような場合、用指的な摘便治療などが必要になりますが、苦痛も強く、お子さんにとって負担となります。 当科では、ガストログラフィン注腸療法によって、苦痛を軽減して便塞栓除去を行ってきました。以下の情報をもとに、この注腸療法の効果を検証し、より良い治療方法の検討を行うことを目的としています。
利用または提供する情報の項目	対象となる患者様の背景因子(年齢、性別など) 便秘症の病悩期間、治療前後の便性状、便塞栓解除までに要した期間、検査結果(画像検査結果など)、治療内容と治療結果について検討します。
対象者及び対象期間	2010年1月から2020年12月に当科で治療された小児便秘症の患者様を対象とします。
利用の範囲	全国レベルの学会発表および論文投稿を予定しています。
試料・情報の管理について責任を有する者	小児外科 医長 仲谷健吾
問い合わせ先	新潟市民病院 小児外科 仲谷健吾、飯沼泰史 代表 025-281-5151
共同臨床研究機関	なし
備考	